

公立大学法人北九州市立大学 第1期中期計画の概要

大きく変わる北九州市立大学 .. 法人化後のアクションプラン策定！

平成17年度、北九州市立大学は公立大学法人として新たなスタートを切りました。そして、このたび、地方独立行政法人として自主性・自立性を発揮してより魅力ある大学を目指しH17～H22までの実施計画である「中期計画」を作成し、北九州市長の認可を受けました。

1. 「中期計画」とは

- 一定の目標を達成するため大学が自ら定める計画です。
 - 「中期計画」は、設立団体の長が定めた「中期目標」に基づき、独立行政法人が自主性・自立性を発揮して業務運営を進めていくために定める計画です。
 - 平成17年6月14日に北九州市長から本学に「中期目標」の指示がなされ、これを受けて北九州市立大学は「中期計画」を作成し、7月8日に北九州市長の認可を受けました。
- 計画期間は6年間（H17～H22）、項目数は169項目。
 - 「中期計画」は、「中期目標」の達成のため、平成17～22年度の6年間にわたり、教育、研究、社会貢献、組織運営（大学運営）の4分野に関して169項目の計画を定めています。
 - また、「中期計画」の認可を受け、その計画的な推進のため平成17年度に実施すべき事項を定めた「平成17年度計画」を作成し、北九州市長に届け出ました。
- 学内・学外から幅広く意見を集めました。
 - 北九州市立大学の独立行政法人化にあたっては、市が設置した「法人設立準備委員会」や大学内に設置した「法人化学内準備委員会」において、「中期計画」をはじめとした法人の重要事項について審議を重ねました。また、学内説明会を開催するなど、大学内への情報提供や意見集約に努めました。
*委員会等の開催実績 ⇒ 法人設立準備委員会（10回）、法人化学内準備委員会（48回）、学内説明会（7回）

2. 「中期計画」の主な内容

教 育 [64 項目]

【教育研究組織・体制の整備（H19 目途）】

- * 北方キャンパスの文系4学部の再編
- * (仮称) 共通教育センター¹⁾の設置（語学・情報教育等）
- * 専門職大学院（法科大学院（ロースクール）、経営大学院（ビジネススクール）、技術経営（MOT²⁾）コース等）の設置、大学院の再編

【教育内容・方法の改善】

- * 一貫した体系的な教育プログラムの整備
- * 学習支援体制の整備（クラス担任・ティーチングアシスタント³⁾・オフィスアワー⁴⁾等の全学導入）
- * 授業評価の充実（学生による評価の拡充等）

【成績評価】

- * 成績評価手法としてGPA制度⁵⁾の全学導入（H18 目途）

【入試・就職】

- * 入試業務を一元的に管理運営する(仮称)入試センターの設置
- * 低学年次のキャリア教育と高学年次の実践的就職支援を行う(仮称)キャリア(就職・

進路)支援センターの設置

研究 [32 項目]

【研究体制の構築・重点的な研究推進】

- * 大学全体の戦略的視点からの研究分野の選択と重点化
- * 地理的近接性を生かした独自の東アジア研究の推進
- * 地域経済、都市計画、地域福祉及び地域文化など地域に関する研究の推進
- * 大学・学術研究機関との研究交流活発化（ICSEAD⁶⁾との連携など）

【産学官連携プロジェクト・地域還元への推進】

- * 全ての研究分野を対象とした知的財産等に関する全学的ルール⁷⁾確立、利益相反⁸⁾の方針・ルール策定
- * 有望な産業技術シーズの開発を担う技術開発センター群⁹⁾の設置
- * 北九州ヒューマンテクノクラスター構想¹⁰⁾の推進による新産業の創出
- * 地域の課題解決に資する政策的・学際的研究の実施

社会貢献 [27 項目]

【大学間連携の推進】

- * 教育研究や社会貢献で連携する北九州地域コンソーシアム¹¹⁾の形成

【地域社会との連携】

- * 地域連携事業を全学一元的に企画・運営する体制の整備（公開講座委員会の改組・拡充）
- * 高大連携・初等教育機関との連携推進
- * 市民向け修学制度・スキルアップ講座の充実
- * 地域企業活性化の人材育成拠点形成（地域企業経営者等へのマネジメント講座の充実など）

【国際交流の推進】

- * 国際教育交流センターの運営体制充実
- * 東アジア地域の優秀な学生の受入・支援体制構築

組織運営（大学運営） [46 項目]

【組織運営】

- * 理事長・学長のリーダーシップ発揮による計画的・機動的な大学運営
- * 各種委員会の抜本的見直し、委員会の統廃合等による意思決定迅速化

【人事制度】

- * 教員評価システムの導入、評価結果の反映
- * 柔軟な人事制度の構築（再任用制度（任期制）の活用、サバティカル制度¹²⁾の導入など）

【財務運営】

- * 自主財源の充実（授業料等の負担のあり方の全般的検討）
- * 外部研究資金の確保（年間5億円程度）

【広報】

- * 大学全体の広報・広聴機能の強化

【施設整備】

＊長期施設整備計画の策定、良好なキャンパス環境の整備

《用語の説明》

- 1) (仮称) 共通教育センター・語学教育、情報処理教育並びにその他の教養教育を全学的に企画、調整、実施する組織を想定。
- 2) MOT・Management of technology の略。技術の研究・開発・投資などの効率化を図る企業等のマネジメントのこと。またはそのための経営手法、学問的研究、人材を育成するカリキュラムや資格を指す。
- 3) ティーチング・アシスタント・大学院生が授業・実験等の補助を行う制度。ひびきのキャンパスで導入済。
- 4) オフィスアワー・授業に関する質問や学業に関する相談について、教員が研究室で相談に応じることが出来る時間。ひびきのキャンパスで導入しているほか、北方キャンパスでも一部の研究室で実施。
- 5) GPA制度・Grade Point Average の略。授業科目ごとの成績評価を5段階で評価し、それぞれに対して4,3,2,1,0のようにグレードポイントを付与し、単位あたりの平均を出して一定水準以上を卒業等の要件とする制度。ひびきのキャンパスで導入済。
- 6) ICSEAD・財団法人国際東アジア研究センター。東アジアの経済・社会問題の研究を行い、国際学術交流を促進する機関として平成元年に設立。
- 7) 知的財産等に関する全学的ルール・特許の帰属や管理等に関する全学共通の基本的な指針を想定。
- 8) 利益相反・産学官連携の推進に伴い、教職員や大学自身が外部から得る経済的利益等と大学における教育・研究上の責任が衝突する状況のこと。
- 9) 技術開発センター群・学術研究都市において本学を中心とし設置される、今後有望な産業技術シーズの開発を担う次元的な研究組織（研究成果を毎年評価し、3年程度で存続の是非を判断）。
- 10) 北九州ヒューマンテクノクラスター構想・文部科学省の「知的クラスター創成事業」の地域指定を受け、学術研究都市を中心に「システムLSI技術」「マイクロ・ナノ技術」での研究開発を行い、ヒューマンテクノロジーに基軸を置く産業発進を目指した構想。
- 11) コンソーシアム・協会・組合の意。大学コンソーシアムは複数の大学が連携して単位互換や公開講座等を行うもの。京都市内の全ての国公私立大学が参加している「大学コンソーシアム京都」などが有名。
- 12) サバティカル制度・大学の教員が、一定年限毎に研究以外の職務を免除されて、場所を変えて研究に専念するもの。類似の制度として、研究のみに従事する「研究主担当制度」などがある。

北九州市立大学「北の翼」

北九州市立大学中期計画(平成17年度～平成22年度)

経営(組織運営)

組織運営

■ **戦略的・機動的な執行体制**
理事長・学長のリーダーシップによる機動的な大学運営
大学全体の課題に関する企画戦略組織の体制整備

■ **学部運営の強化**
常任委員会の活用

■ **大学運営における透明性の確保**
自己点検評価体制の確立

人事制度

■ 教員人事制度の構築

教員評価システムの導入
女性教員・女性事務職員の登用拡大
語学教師制度の見直し(任期、応募資格等)
教授半数制の見直し
サバティカル制度等の導入

■ **事務職員員の資質向上・人材確保**
事務職員員について人事評価制度導入

財務運営

■ 戦略的な資源配分

■ **自主財源充実・経営効率化**
民間委託・発注方法の見直し等支払事務の効率化・経費の節減

■ 外部資金の確保

科研費など外部研究資金の年間5億円確保

■ 資産管理

知的財産等に関する全学的ルールの確立

広報

■ 広報機能の強化

広報・広聴機能を強化する体制構築 高大連携の拡充

危機管理

情報セキュリティポリシーに基づき、対策マニュアル作成・研修等

人権啓発

セクハラ・アカハラ等防止の研修会・講演会等人権研修会等

施設整備

■ **長期整備計画の策定・良好な教育研究環境整備**
長期の施設整備計画の策定

大学の原点である「教育」「研究」という両翼。

地域・海外の風を受け舵を切る「社会貢献」という尾翼。

力強い羽ばたきを生み出す「教育研究組織」という心臓部。

確かな目で進むべき方向を見定める「経営」という頭脳。

これらが相互に連携しあって、より魅力ある大学を目指し、北九州市立大学は羽ばたいていきます。

教育研究組織・体制の整備

学部・学科等の再編／基盤教育センターの整備

■ 平成19年度目録の学部学科等再編をにらんだ全学的検討

基盤教育センターの設置
専門職大学院の開設
文系4学部の再編
学部・学科、大学院の新設・再編、昼夜開講制の見直し
教員配置状況の見直し
文系修士課程と社会システム研究科博士課程の再編等
中期計画の柔軟な見直し

教育

教育内容・方法の改善

■ **カリキュラムの整備**
一貫した体系的な教育プログラム、カリキュラムの整備
少人数授業科目、演習科目の充実
教養教育科目の見直し・専門教育との連携強化

■ **語学教育・情報処理教育**
実践的な英語教育(TOEIC等活用)の単位認定
海外英語習得プログラム、海外留学の活用
情報処理教育の環境整備(教室整備等)

■ **授業手法・内容の向上**
授業評価(学生による授業評価拡充)
自習用設備の充実

■ **厳密な成績評価**
表彰制度を全学実施
GPA制度の全学導入

入試、就職、学生支援

■ 大学入試(優秀な学生確保)

一元的管理組織「入試センター」の設置
AO入試の導入
選抜方式別の学生の追跡調査(修学・進路状況)

■ 学生支援

生活相談・進路相談窓口担当者と専門スタッフ等との連携、相談体制整備
休・退学、留年、成績不振者等の実態調査・対策
学生の自主的活動(ボランティア等)の支援体制強化

■ 就職支援

インターンシップシステム構築
就職に関する民間ノウハウ・人材の活用
「キャリアセンター」の設置、就職率90%以上

社会人教育の推進

■ **専門職大学院の設置検討**
専門職大学院の開設(ビジネススクール)

■ **社会人対象の教育充実**
社会人対象の教育システム充実

■ **選抜方法の整備**
社会人受入れのための総合的な選考方法の導入

大学間連携の推進

■ 北九州地域コンソーシアムの形成

学研都市に立地する大学院等との連携強化
北九州地域コンソーシアムの形成も視野に入れた単位互換や
共同授業などの実施に向けた調整

地域社会との連携

■ 推進体制の整備

公開講座委員会の改組、地域連携事業の全学的な企画・運営・評価体制整備

■ 初中等教育機関との連携

高校生が聴講できる「体験入学制度」・科目等履修生制度等
初中等教育機関への実践的教育プログラムの提供など

■ 生涯学習・スキルアップ等の推進

市民向け修学制度の新設
国・県の委託事業(地域再就職希望者支援訓練事業)等の積極的実施

■ 地域企業支援

■ **自治体、NPO、後援会等との連携**
国や地方自治体の各種審議会・委員会への積極的参画
自治会等地域住民団体や非営利組織(NPO)との連携強化
後援会、同窓会との連携強化

社会貢献

産学官連携、地域還元への推進

■ 産学官連携のルール・環境整備

産学官連携推進の全学的組織体制整備
知的財産等に関する全学的ルールの確立
利益相反の方針・ルール策定

■ 産学官連携プロジェクト・地域還元への推進

技術開発センター群の設置
北九州ヒューマンテッククラスター構想の推進、システムLSIを軸とした新産業の創出
研究成果の地域社会還元・産業支援
中小企業の技術支援(北九州エコタウンとの連携)

国際交流の推進

■ 国際教育交流センターの運営体制充実

国際教育交流センターの運営体制の整備・充実・再編

■ 留学生の導入・支援

東アジア地域の優秀な学生の受入体制構築・人材育成拠点形成
交換留学制度の整備、単位互換制度の確立
留学生の受入れ体制・支援体制整備(奨学金確保、留学生後援会等との連携)

■ 国際学術交流・国際協力

東アジアを中心とした国際協力事業への取組強化
学術交流協定の促進、学生・教職員の海外留学・派遣の効果的実施体制整備

■ 地域の国際化

国際教育交流センターを中心とした市民、NPO等と留学生との交流強化
市民向け多文化理解講座の企画・実施